



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

NO. FAN-041

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2

発行 昭和49年9月15日

(スバルビル)

エンジン部フュエルラインの検査とサポートクランプの追加について

FA-200-180の機体で、フュエル・インジェクター・マニホールド及びノズル間の燃料供給ラインはエンジン整備時等に強く曲げられたりすると、損傷し洩れを招く恐れがあります。強く当る冷却空気、エンジン及び航空機からの振動も損傷の原因となり得ます。

これら損傷に依る燃料供給ラインからの洩れによる危険を防止するために、出来得るだけ早い時期に、次の様な検査及びクランプ方法の改修をお奨め致します。

尚、適用エンジンはIO-360-B.1B S/NがL-8230-51Aより以前のもの(L-8230-51Aは含まない)で、国内で使用されているエンジンのS/N一覧表を最後に列記しましたので、使用エンジンのS/Nと照合の上点検、改修を実施して下さい。

この場合改修キットは富士重工業株式会社で準備致して居りますので御用命下さる様お願い致します。

- (1) ノズルに行く燃料系統は1/8 inのチューブで出来ていて、フュエル・インジェクターマニホールドより分離し、各シリンダーのインテーク・ポートに燃料を供給している。各チューブに損傷がないか、又燃料洩れに依る“しみ”がないか点検する。
- (2) 不具合のあるチューブは取り外す。燃料洩れのあるチューブは修理してはならない。
曲がっているチューブの手直しは良いが内径は5/8"以上であること。デントのあるチューブ

FAN-041

PAGE 1 OF 3

ブは再使用しないこと。デント部からクラックが発生するからである。

- (3) チューブをエンジンに取り付けているクランプの位置を調べ添付の写真と比較して点検する。クランプ又はチューブが写真の通りでない場合は次項(4)に移る前に修正する、チューブ及びクランプの組合せについては必要部品表参照のこと。
- (4) 改修キット部品を写真の通り追加取付ける。
- (5) #10-32のスクリー及びナットは20~30 in.-lbsのトルクで締めつける。

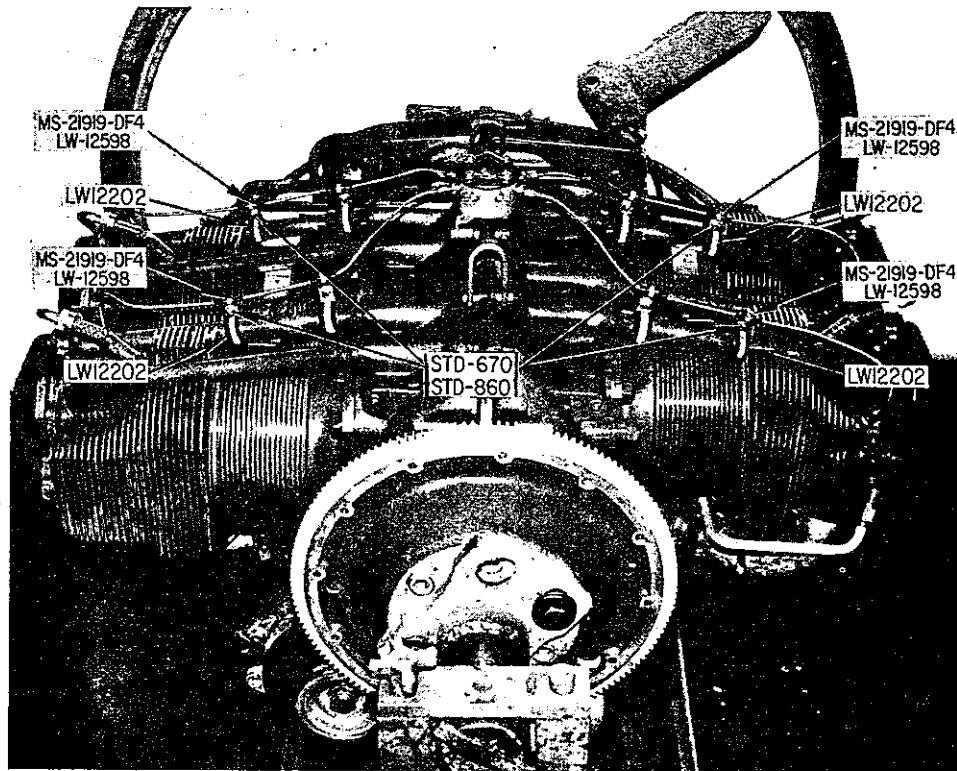
注 記

燃料チューブ取付けの際、チューブはエンジンと接触してはならない、エンジンの表面と最少1/8in.のクリアランスを保つこと。

- (6) この作業には下記の部品が必要である。

NO	部品番号	部品名称	1機当個数	備考
1	LW12326	INSTALLATION KIT	1	
(1)	MS21919-DF4	25 dia Clip for #10 screw	(4)	INSTALLATION KITに含む
(2)	LW12598	Sleeve	(4)	"
(3)	STD-860	Screw	(4)	"
(4)	STD-670	Nut	(4)	"
(5)	LW12202	75 dia Clip	(4)	"
2	LW12098-1-170	Tube Assy	4	チューブが損傷した場合

部品表



改修要領図

適用エンジン一貫番号表

NO	S/N	NO	S/N	NO	S/N
1	L-5549-51A	14	L-6308-51A	27	L-7125-51A
2	L-5669-51A	15	L-6315-51A	28	L-7124-51A
3	L-5701-51A	16	L-7096-51A	29	L-8110-51A
4	L-5555-51A	17	L-7097-51A	30	L-8113-51A
5	L-5670-51A	18	L-7109-51A	31	L-8108-51A
6	L-5703-51A	19	L-7111-51A	32	L-8112-51A
7	L-5705-51A	20	L-7119-51A	33	L-8114-51A
8	L-5706-51A	21	L-5808-51A	34	L-8115-51A
9	L-5784-51A	22	L-5807-51A	35	L-8116-51A
10	L-5785-51A	23	L-5806-51A	36	L-8109-51A
11	L-5787-51A	24	L-5803-51A	37	L-8107-51A
12	L-6301-51A	25	L-7123-51A	38	
13	L-6298-51A	26	L-8118-51A		